

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	食育力を高める保育者・教育者養成教育の課題と方法
所属	人間発達学部 子ども発達学科
氏名	進藤 容子
<p>【概要】</p> <p>今、教育・保育現場では食育が重視されている。しかしながら、子どもにもっとも密接に関わる教師や保育士の食育力は十分とは言えない状況である。そこで、養成教育における課題を明らかにし、食育力を高めるための教育方法について研究を行っている。とくに、課題を見出し、効果的な教育方法を検討する上で不可欠な、「食育力評価指標」の構築を進めているところである。</p> <p>食育を実践するためには、人体、栄養、食品、食事、流通、食文化などの知識と同時に、食育対象を理解することで問題の本質を明かにし、介入方法を決定し、計画、実施、評価する力が望まれる。また、食育力を高めるうえで、自然と人のつながりへの気づき、環境への関心の育成が欠かせない。食育力向上をめざす取り組みでは、科学的な思考過程の体験(問題解決行動の体験)が可能となる。このように本研究テーマは、養成教育全般において意義深いものと捉えている。</p>	
キーワード	食育 食と環境 子どもの食 保育者・教育者養成 評価